

事務事業名	情報通信技術活用教育推進事業(旧:学校教育用コンピュータ整備事業)				会計	一般会計					
					事業種別	政策	開始	8	終了		
課等名	学校教育課	係等名	学務係								
基本計画上の位置づけ	政策	2	地育力によるこころ豊かな人づくり								
	施策	22	義務教育の充実								
目的	対象(誰・何を)	飯田市立の小中学校				対象指標	指標名及び単位			24年度数値	
	意図(どういう状態にするか)	情報通信技術活用指導用教材の視覚支援によるわかりやすい授業が提供できる。児童等の情報活用・発信、プレゼンテーションなど情報活用能力が高まる。					小中学校数	28			
	向上させたい上位施策の成果指標	基礎学力の水準					児童生徒数(5/1現在)	9166			
目標	種別	指標名及び単位				24年度計画	24年度実績	25年度計画	28年度見込み	備考(指標変更など)	
	成果指標	コンピュータ教室に一人一台が整った学校の割合				100	100	100	100	指標変更	
	定性目標										
事業概要	ICT(情報通信技術)による教科指導用教材が活用できるよう環境を整備し、視覚支援によるわかりやすい授業が行えるようにすることで、学力・学習理解の向上を図る。また、ICT(情報通信技術)環境を整備し、情報機器・ソフトウェア等を整備することによりICT(情報通信技術)を活用した授業、学習を実施する(例:個人毎のドリル学習、確認学習の実施)とともに、児童等に情報活用能力を身に付けさせる。 【参考:新学習指導要領】新たにスタートした新学習指導要領の重点課題として「情報教育及び教科指導でのICT(情報通信技術)活用の充実」を図ることが求められている。小学校:国語科における言語の学習、算数における数量や図形の学習など。中学校:技術分野のデジタル作品の設計・制作、プログラムによる計測・制御をすべての生徒に履修。国語科における資料・機器の活用や情報の比較などの学習処理・発表、数学科における表・グラフの整理や標本調査の学習などである。										
24年度事業内容	事業内容				名称			活動指標			
	1 コンピュータ等の情報機器・ソフトウェアを整備することにより情報通信技術を活用した授業、学習を実施するための環境整備を行う。 整備実施校:丸山小学校・浜井場小学校・松尾小学校・竜丘小学校 鼎小学校・上郷小学校 計6校				(1) コンピュータ教室のコンピュータ数 (2) 更新コンピュータ数			(1) 955台 (2) 228台			
事業コスト		23年度決算額	24年度予算額	24年度決算額	25年度予算額	特定財源内訳、補足					
事業費計(千円)①		48,708	49,292	49,124	52,495						
国庫支出金											
県支出金											
起債											
その他											
一般財源		48,708	49,292	49,124	52,495						
人件費計(千円)②		179		179							
正規職員所要時間		50		50							
臨時職員所要時間											
総事業費①+②		48,887	49,292	49,303	52,495						
事業内容・目標達成状況の振り返り	小学校6校のコンピュータ教室のコンピュータの更新を行い、ICT環境の整備を行った。										
改革改善の考え方	①問題点	学習指導要領に沿ったICTを活用するための環境(情報機器、デジタル教材など)整備方針が定められていない。									
	②改革提案	ICTを活用するための環境(情報機器、デジタル教材)整備計画の策定									